

今日、私たちは、少子高齢化、環境問題など多くの課題を抱え、厳しい社会経済状況に直面しています。さらに、東北地方太平洋沖地震が発生し、世界を震撼させる未曾有の大惨事が起こりました。

こうした時こそ私たちは、誇るべき日本の助け合いの精神で、それぞれができることを実行し、力を合わせて困難を乗り越えていかなければと思います。



この京都でも、明治維新で都の地位を失い、人口が3分の2に減少するなど、都市衰退の危機に直面しました。しかし私たちの先人は、地域の力で全国初の小学校を創設し、更に京都の産業振興の原動力となる琵琶湖疏水を建設。この琵琶湖疏水は水力発電を誕生させるなど、京都のみならず、我が国の近代化を牽引する大きな役割も果たしました。

私たちには誇るべき伝統があります。ピンチのときこそ底力を発揮し、幾多の困難を乗り越えてきた“京都ならではのDNA”を活性化させ、京都から新しい時代を切り拓く。そんな決意を込めて、この「京都市新価値創造ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、1200年の歴史と伝統の中で磨かれてきた、京都が誇る「美」、「知」、「匠」などの強みを生かし、産業における新しい価値を創造し、世界のモデルとなるビジネスが展開される「新価値創造都市・京都」の実現を目指しています。

本ビジョンを礎に、京都の輝かしい未来、更には関西、全国、ひいては世界の新たな未来を切り拓くため、企業・事業者、学術研究機関、経済団体など、多くの皆様と志と責任、行動を共有し、全力で取り組んで参ります。皆様の御支援と御協力をお願い致します。

最後になりましたが、本ビジョンの策定に多大の御尽力をいただきました検討委員会の皆様、貴重な御意見をお寄せいただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。

京都市長 門川 大作